

【編集後記】

《20生》

入学当初から続けてきた編集委員の務めも今回で最後です。この2年半、さまざまな場所に出向き、多くの人と出会い、とても貴重な経験ができました。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

印象に残っているのは、76号と77号の取材に、僕の趣味である「赤ヘルきっぷ」や「こだま指定席往復きっぷ」といったJRのお得な切符を使用し、それを記事で紹介してしまったことと、76号・77号の「飛翔な日々」で2連続で書いた「心にうつりゆくよしなしごとを……」です。本人は発信したいことを発信したいままに発信できてとても楽しかったのですが……これでよかったのでしょうか!? 林田君・久住君・平野さん、軌道修正はあなたたちの手にかかっています。どうぞよろしく（笑）。

— 山 谷 義 貴 —

《21生》

前号では「締め切りを守る」と、ここに書いたにも関わらず、またまた遅くなってしまいました（笑）しかし、今号は今までで一番大変でした。すべてが2週間近く遅れていて、テスト期間も記事を制作し、なんとか間に合わせたところでしょうか。前編集長の山谷先輩から編集長を引き継ぎましたが、何もかも手探りでみんなには迷惑をかけてしまいました。それでも、みんなの協力で無事今号も発行できました。感謝しています。それと同時に、次号ではもっと余裕をもって、自分らしさが少しでも出せればな、と思いました。発行35年を迎え、その伝統の中にも、新しい風を吹き込める、そんな飛翔にしていきたいです。

最後に、協力して下さった皆さん、本当にありがとうございました。

— 林 田 啓 誉 —

特集内でのアンケートをした時に、総科のみなさんが快く応じてくれたことに感動しました。総合科学部は仲が良い学部だなと実感しました。協力して下さったみなさん、ありがとう。

— 久 住 忠 彦 —

先輩に…副編集長になってしまった78号。大勢入ってくれた後輩たちを前にこんな適当な先輩で良いものかと内心ドキドキしながらスタートを切りました。OB・OGともに取材先がなかなか決まらず、今回は県外へ取材に行くことを諦めざるを得なくなってしまったことが少し残念でした。しかし、そのことで私自身が多くの人に支えられているということを改めて実感できたような気がします。急なメールでの取材依頼を、忙しい中受けてくださった先輩には本当に感謝しています。追い立てられるように取材をして、追い立てるようにテープ起こしをしてもらって、なんとかなったのは協力してくれたみなさんのおかげです。いろいろと立て込んでしまい、他の企画には全く顔を出せなかった今号でしたが、学内で頑張っている編集委員の姿にも助けられました。頼もしかったです。とりあえず後期は用事が立て込まないうちにスムーズな取材をしたいです（笑）

— 平野詩歩 —

《22生》

今回私はOB・OG紹介の担当として編集させていただきました。しかし、実際に私がやったことは少なく、先輩には多大な負担をかけてしまったことを反省しています。今回はOBの方に取材をしに行かせてもらいましたが、仕事のことなどの実体験を直接聞く事ができ、とても勉強になりました。飛翔の編集に少しでも参加できたことは私にとって良い経験となりました。一緒にOB・OG紹介を担当した皆さん、お疲れ様でした。本当に楽しかったです。そして、ありがとうございました。

— 綾部佑香 —

OBOG紹介担当のみんな、お疲れさまでした。そして、飛翔編集部メンバーもお疲れさまです。僕ははじめから卒業生に興味があったので、この仕事ができる本当によかったです。取材を通して自分への養分となるものもあり、充実したお仕事でした。OGは残念ながらメールのみの取材でしたが、OBのときは大学を離れた地でみんなと取材ができ、いい思い出となりました。後期はこの経験を生かしてもっと楽しい取材にしたいと思います。最後に読者のみなさん、読んでいただいてありがとうございます。

— 井上知紀 —

下見・中央方面のお店を周りたかったのでとても楽しかったです！店員さんと話すことができ、取材準備や記事レイアウトなども勉強になりました。ただ数えきれないほど会議を忘れ＆遅刻したことが一番の思い出になりました…ごめんなさい！！

— 今井悠 —

飛翔の活動は、思っていたより忙しかったです。それに想像以上の大変さでした。でも、とてもやり甲斐のある活動だと思いました。初めてのことがたくさんあり、いい経験が出来たと思います。

宇野 沙莉那

『飛翔』作りに、今回初めて参加させて頂きました。慣れない作業で、他の編集委員の方々にご迷惑をおかけしたこともあったかと思えます。この『飛翔』を通じて、今後更に「広大総科」の魅力を発見していきたい、これを読まれる皆様にも是非そうして頂きたいと願っております。学生プラザにて、挙動不審なインタビュアー(私です)の取材に快く応じて下さった方々に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

太田 かすみ

研究室紹介を担当しました。取材をする先生がなかなか決まらず大変でした。このようなことは去年もあったみたいで・・・今年が僕が狙われたみたいですね。来年のターゲットは僕が決めていいみたいです。だれにしよっかなー。みんなが頑張って作った「飛翔」をたくさんの人に読んでもらいたいなー。

恩田 怜

最初は不安でしたが、最後まで楽しくやっていくことが出来ました。取材のご協力や、記事の作成に関わって下さった方々に感謝です。

兼内 伸之介

人生で初めてのテープ起こし。ICレコーダーで録音した音声のデータをパソコンに移動し、速度を遅く再生して文字に起こしていく。ただ、私はパソコンに文字を打ち込むことがあまり上手ではないため、少し打ち込んで巻戻しという作業を繰り返しながら進めていった。正直、かなり時間がかかる作業だった。読者の方々にはこの飛翔が編集委員の地道な作業によって作られたということを知っていて欲しいと思う。

佐々木 達哉

今回は研究室紹介を担当しました。先生からためになる話が聞けてよかったです。ネコが飼いたくなりました。

島田 真

初めての飛翔の編集作業!!

時間にルーズな僕はとにかく時間に間に合わせるのが大変でした…

普通にやればなんてことない作業も、ギリギリにやるからすごくキツかったです(笑 9割くらいは先輩がやってくださったので、申し訳ないとともに本当に感謝してます!!次回は締め切りにギリギリにならないように気をつけたいです(笑 お疲れさまでした!!

— 末 元 悠 人 —

雑誌の編集というものは初めてのことだったので、難しさを感じました。しかし、インタビューなどを通じて良い経験になったと思います。

— 立 川 香 織 —

編集をやってみて、人とこんなに接する機会はなかなかないと思ったのでとてもいい経験になりました。最後ちょっと時間がなくて締め切りとか守れなくて迷惑かけましたすみません!!お疲れ様でした!

— 田 仲 浩 太 郎 —

取材に行ってみて、実際に社会に出て働いている人の価値観に触れることができよかったです。今後の学生生活の参考になることがたくさん聞けました。また、取材内容をテープに起こすのは大変でしたがいい経験になりました。

— 原 美 緒 —

今回の「飛翔」で私は研究室紹介を担当しました。先生へのインタビューではいろいろな話が聞けてとても楽しかったのです、その後のインタビューの内容を記事にする作業が思いのほか時間がかかってしまい大変でしたが…。ですが今回の「飛翔」の編集に携わり様々な経験ができてよかったです。

— 山 崎 陸 —

私は研究室紹介を担当したのですが、普段あまり話すことのない大学の先生に1時間ほど取材をさせていただいて色々なお話を聞くことが出来ました。貴重な経験をすることができて本当によかったです。

— 吉 川 量 子 —

僕はこのような記事を書くことをやったことがなく、何もかもが初めての経験でした。アクシデントがあったり、アポがうまくいっていなかったりと、いろいろ苦労はしましたが、先輩方の助けもあってなんとか記事を形に出来ました。とてもいい経験になったので、やって良かったなと思いました。

— 吉 正 尚 人 —

《教員・事務の方々》

今回もこれまで同様、学生独自の目線からいろいろな企画を考えて、そして、熱心に取材活動・原稿執筆に取り組みました。とくに1年生は慣れない取材や編集作業に追われて大変だったと思いますが、きっとすばらしい経験となったことでしょう。

編集室も引っ越しをして気持ちも新たに、より魅力的な「飛翔」づくりをめざして今後がんばってください。わたしたち教職員も、取材や編集作業がより効率的に進められるよう支援していきたいと思います。

— 青 木 利 夫 —

編集をお手伝いできなかったかわりに、最初から最後までじっくり読ませていただいた。活きのよいネタをそろえられたのは、学年の壁を超えたチームワークの成果だろう。映画紹介で島田紳助を取り上げている。彼の「自己プロデュース力」(ワニブックス、2009年)は面白い本だ。お笑いを目指す人も、金持ちになりたい人も、研究者を志す人も一度読んでみるといい。何かヒントが見つかると思う。次号以降も、ますます充実した紙面を期待している。

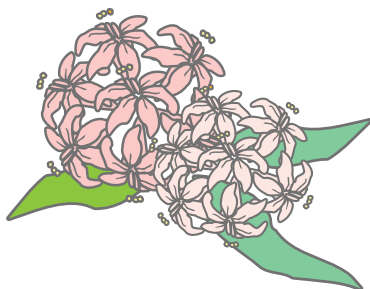
— 入 戸 野 宏 —

20数年ぶりに総合科学部に戻ってきました。当時のおもかげそのままの先生方と飛躍した「飛翔」に感無量です。昨今、学生が変わったと言われますが、総合科学部に限って言えば、本質的な変化はなく、編集員の皆さんの力量とエネルギーが78号からは伝わってきました。研究室紹介では自分の大学時代に戻ったような、いい話を読ませていただきました。今後の活躍を期待しています。次号もまた楽しみです。

— 木 田 恵 子 —

初めて「飛翔」の発行に携わりました。企画・取材から編集まで、全て総科の学生達による手作り！びっくりしました。一生懸命に“何か”を作る過程で、テクニックやスキルといったもの以上に、目に見えない様々なものを手に入れることができると思います。うまくいったりいかなかったり、その中でたくさん学んで欲しいです。今回は短時間での作業となり大変だったと思います。お疲れ様でした！

— 山 本 真 帆 —





**Faculty of
Integrated
Arts and Sciences**

総合科学部広報誌『飛翔』
2010年10月発行 通巻78号
広島大学大学院
総合科学研究科・総合科学部
広報出版委員会
〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1
TEL 082-424-6320